



マテリアリティ
CSRの重要課題と取り組み状況

NEXCO西日本では、ステークホルダーとの対話を大切にし、そこで得られたご意見を経営に組み込みながら、事業活動に反映させていくことをCSR活動の方針としています。

また、対話で得られたご意見をもとに特定したCSRの重要課題に対して、目標を定めて取り組んでいます。

重要課題(マテリアリティ)	ステークホルダーとの対話の機会(参加者) ^{※1}	重要である理由	KPI・マネジメントアプローチ	
			管理のポイント・指標	
 お客さま	100%の安全・安心 快適な高速道路空間の提供 SA・PAのお客さま満足施設への変革	●お客さまセンター(高速道路利用者) ●SA・PAに設置した利用者向け投書コーナー「ハイウェイポスト」(高速道路利用者) ●CS推進オピニオンリーダー意見交換会(外部有識者)	死傷事故率 ^{※2} (走行車両1億台kmあたりの死傷事故件数) 逆走事件数 ^{※2} (交通事故または車両確保に至った逆走事案の件数) 人の立入事案件数 ^{※2} (高速道路上で歩行者等の保護または歩行者等がいることの通報を受けた件数) 快適走行路面率(快適に走行できる舗装路面の車線延長比率) 要補修橋梁数 ^{※3} (平成26年度に点検した橋梁の健全性区分Ⅲ・Ⅳの橋梁数) 総合顧客満足度(CS調査等で把握するお客さまの満足度(5段階評価)) 年間利用台数 通行止め時間 ^{※2} (単位営業延長(上下線別)あたりの雨、雪、事故、工事等に伴う年間のべ通行止め時間・距離) 本線渋滞損失時間 ^{※2} (渋滞が発生することによるお客さまの年間損失時間) 路上工事時間(道路1kmあたりの路上作業に伴う年間の交通規制時間)	
			高速道路の円滑な交通を24時間365日確保することによって、国民生活を豊かにし、経済活動を支えることが、当社の責務です。	Wi-Fiサービスの提供箇所数 ウェルカムゲート(一般道からSA・PAに立ち寄れるゲート)新規設置数
			旧日本道路公団の民営化の目的のひとつが「多様なサービスの提供」であり、高速道路機構が公団から受け継いだ債務の返済のため、高速道路の資産価値の向上とSA・PAにおける収益力の強化が求められています。	新規開通路線延長 スマートIC新規設置箇所数
 社会	高速道路ネットワークの整備と機能向上 災害対応力の強化	●事業説明会(地域住民) ●設計協議(地域住民) ●包括協定・災害協力協定・連携協定(管内府県・政令指定都市、陸上自衛隊)	高速道路ネットワークは、国民生活を豊かにし、経済活動を支える、基礎的な社会資本です。また、輸送コストの削減や交通事故の減少にも貢献しています。	
			災害発生時、高速道路には、被災地域の救急・復旧・復興のインフラとしての役割が求められています。	南海トラフ地震被害に備えての資機材の新規備蓄箇所
 投資家・国民の皆さま	透明性の高い経営と着実な債務の返済	●高速道路事業アドバイザー会議(経済界・学術界の外部有識者)	国民の資産である高速道路を管理する事業者として、透明性の高い経営が求められています。	
	不正通行対策	●事業評価監視委員会(経済界・学術界の外部有識者)	また、高速道路機構の債務返済を着実なものにしていくため、経営の効率化が求められています。	
	ステークホルダーとの対話・メディアを通じた情報発信	●事業説明会(機関投資家) ●個別投資家訪問(機関投資家) ●記者会見(マスメディア) ●アンケート調査(コミュニケーションレポート読者)	ステークホルダーから理解・信頼・期待される企業となるために、積極的な情報公開とコミュニケーション活動が重要だと考えています。	
			高速道路機構の債務削減 不正通行発生件数(後日課金申出のあった車両を除き、通行料金を支払わず料金所を通過した車両の通行件数。ETC未課金車両を含む) 社長定例会見(毎月開催) ウェブサイトアクセス数 「なるほど!高速道路発見」工事現場の一般公開 CSR報告書での企業活動報告	

※1 上記のほか、経営改善に向けた取り組み全般にわたって、外部有識者からご意見をいただく機会として、「高速道路事業アドバイザー会議」(7ページ参照)を開催しています。
 ※2 集計期間:2014年1月1日~12月31日

CSRの重要課題と取り組み状況について


サステナビリティ報告の国際的ガイドラインである「GRIガイドライン」第4版(G4)での要請に沿って、対話で得られたご意見をもとに特定したCSRの重要課題と、その取り組み状況を開示します。高速道路事業は、国民の生活に密接に係わる基本的な社会インフラであるため、関わりのあるステークホルダーも多く、CSRにおける重要課題も多岐にわたっています。

KPI・マネジメントアプローチ				GRIガイドライン第4版(G4)では…		関連ページ	
目標	実績	次年度の目標	集計範囲(バウンダリー)	側面 (Aspect)	指標 (Indicator)		
8.0件/億台km	7.7件/億台km	7.4件/億台km	NEXCO西日本事業エリアの全国路線網	〈製品責任〉 顧客の安全衛生	G4-PR1 安全衛生の影響評価を行い、改善を図っているものの比率	29ページ	
—	81件	—				—	
—	1,168件	—				—	
95%	96%	97%				9ページ	
—	70橋※4 [0橋] (1,281/6,298)	—		〈製品責任〉 顧客満足度	G4-PR5 顧客満足度調査の結果	9ページ	
3.7ポイント以上	3.5ポイント	3.5ポイント以上				30ページ	
—	957百万台	—				—	
—	49時間・km/km	—				WEB	
—	475万台・時	—		〈経済〉 間接的な経済影響	G4-EC8 著しい間接的な経済影響(影響の程度を含む)	30ページ	
—	104時間/km	—				11ページ	
—	146カ所	—	WEB				
—	5カ所	—	NEXCO西日本事業エリアのSA・PA	〈社会〉 地域コミュニティ	G4-SO1 事業のうち、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率	WEB	
2区間 18km	3区間 39km	—	NEXCO西日本事業エリア	〈経済〉 間接的な経済影響	G4-EC7 インフラ投資および支援サービスの展開と影響	17ページ	
2カ所	3カ所	3カ所				17ページ	
232カ所	226カ所	6カ所		〈社会〉 地域コミュニティ	G4-SO1 事業のうち、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施したものの比率	WEB	
4ページ「全な経営指標」の「高速道路機構の債務残高」をご覧ください。				(旧道路関係 4 公団)	〈経済〉 経済的パフォーマンス	G4-EC1 創出、分配した直接的経済価値	4ページ
—	57,447件	—	NEXCO西日本事業エリア	—	—	35ページ	
—	11回	—	NEXCO西日本	—	—	35ページ	
前年比 +5%	前年比 +23%	前年比 +5%				35ページ	
—	11回	15回	NEXCO西日本グループ	—	—	WEB	
1回	1回	1回				44ページ	

※3 平成26年7月より施行されたトンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示(平成26年国土交通省告示第426号)に基づき健全性が診断された橋梁のうち区分Ⅲ・Ⅳの割合。

※4 中段の[]内は健全性区分Ⅳの橋梁数。下段の()内は平成26年度点検橋梁数/全橋梁数。

マテリアリティ
CSRの重要課題と取り組み状況

重要課題(マテリアリティ)		ステークホルダーとの対話の機会(参加者) ^{※1}	重要である理由	KPI・マネジメントアプローチ 管理のポイント・指標	
 グループ社員	人材の育成・ダイバーシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● キャリア相談窓口 (NEXCO西日本社員) ● ウィメンズネットワーク (NEXCO西日本女性社員) ● 経営懇談会、労使協議会 (NEXCO西日本労働組合員) ● 外部講師による研修 (グループ社員) 	中期経営計画に定めた「自立と成長」を実現するため、一人ひとりが仕事を通じて自律的に成長していける人材育成と、組織・会社の自己変革が重要だと考えています。	階層・職種別研修	資格取得支援制度の利用者数
					女性管理職者比率
 お取引先	SA・PAのテナント会社との協働	<ul style="list-style-type: none"> ● エリア・パートナーズ倶楽部(テナント会社) 	お客さまの多様なニーズに応えるため、SA・PAのテナント会社と協働を重視しています。	食品衛生講習会	誤給油防止訓練
	公正な取引関係	<ul style="list-style-type: none"> ● 入札監視委員会 (外部有識者) 	国民の財産である高速道路の建設・管理を担う会社として、公共調達に係る契約の透明性の確保が求められています。	防犯講習会(不当要求含む)	入札監視委員会の実施回数
 環境保全	低炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種の対話の機会を通じた環境コミュニケーション(お客さま、地域住民、グループ社員、専門家) 	高速道路では、自動車から大量のCO ₂ が排出されるため、道路運営全体で、その排出量削減が求められます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境アクションプラン ● 省エネルギーの推進 ● 創エネルギーの推進 	電気使用量の抑制によるCO ₂ 排出量の削減(道路施設の維持管理に要する電気使用量)
	循環型社会の形成		<ul style="list-style-type: none"> ● 各種の対話の機会を通じた環境コミュニケーション(お客さま、地域住民、グループ社員、専門家) 	高速道路の建設・管理では、大量の建設副産物が発生するため、その削減が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境アクションプラン ● 廃棄物の発生抑制 ● 資源の循環的利用の促進
	自然と共生する社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) ● 鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) その他、必要に応じて外部委員会を設置	高速道路の建設では、沿道地域の自然環境に影響を及ぼすため、その影響の緩和が重要になります。また、沿道地域の生活環境を守るため、道路交通による影響の低減が求められています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境アクションプラン ● 自然環境の保全 ● 沿道環境の保全 	電気自動車急速充電設備の整備数
					アスファルト・コンクリート塊の再資源化率
					コンクリート塊の再資源化率
					刈草等の有効利用率
					グリーン調達
					動物侵入防止対策
					新規開通路線における高機能舗装面積
 社会貢献	「安全」「環境」「地球の元気」の分野での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全講習会 (グループ社員) ● 各種ボランティア活動 (グループ社員) 	社会インフラを管理する公共性の高い企業として、地域社会への貢献が求められています。	交通安全啓発活動	職場周辺における清掃活動
					つなぎの森活動

※1 上記のほか、経営改善に向けた取り組み全般にわたって、外部有識者からご意見をいただく機会として、「高速道路事業アドバイザー会議」(7ページ参照)を開催しています。
 ※2 ハイウェイオアシスへの設置は含まない

KPI・マネジメントアプローチ					GRIガイドライン第4版(G4)では…		関連ページ	
目標	実績	次年度の目標	集計範囲(バウンダリー)	側面 (Aspect)	指標 (Indicator)			
—	のべ 461回	—	グループ全体	〈労働慣行〉 研修および教育	G4-LA9 従業員一人あたりの年間平均研修時間 (男女別、従業員区分別)	WEB		
—	169名	—	NEXCO西日本			WEB		
—	6.7%	—	グループ全体	〈労働慣行〉 雇用	G4-LA1 従業員の新規雇用者と離職者の総数と 比率(年齢、性別、地域による内訳) G4-LA2 派遣社員とアルバイト従業員には支給せず、 正社員に支給する給付(主要事業拠点ごと) G4-LA3 出産・育児休暇後の復職率と定着率(男女別)	WEB		
56社	56社	56社	飲食物販テナント事業者			〈製品責任〉 顧客の安全衛生	G4-PR1 安全衛生の影響評価を行い、改善を図っ ているものの比率 G4-PR2 規制および自主的規範の違反件数…製品 やサービスのライフサイクルにおいて発生 した、安全衛生に関する規制および自主的 規範の違反事例の総件数(結果の種類別)	37ページ
10社	10社	10社	元売テナント事業者					—
56社	56社	56社	飲食物販テナント事業者	〈人権〉 保安慣行	G4-HR7 業務関連の人権方針や手順について研修 を受けた保安要員の比率	—		
—	8回	—	NEXCO西日本	〈社会〉 腐敗防止	G4-SO3 腐敗に関するリスク評価を行っている事 業の総数と比率、特定した著しいリスク	37ページ		
2011年度 以下に 抑制する	255.3 百万kWh (▲3.7%)	2011年度 以下に 抑制する	NEXCO西日本事業エリア	〈環境〉 エネルギー	G4-EN7 製品およびサービスのエネルギー所要量 の削減	40ページ		
19本	13本	28本	NEXCO西日本事業エリア のSA・PA			40ページ		
80カ所※2	80カ所※2	16カ所	NEXCO西日本事業エリア のSA・PA			15ページ		
リサイクル 可能なものは 100%を目指す	100%	80%以上	NEXCO西日本事業エリア	〈環境〉 原材料 〈環境〉 排水および廃棄物	G4-EN1 使用原材料の重量または量 G4-EN2 使用原材料におけるリサイクル材料の割合 G4-EN23 種類別および処分方法別の廃棄物の総重量	40ページ		
	100%	99%以上				40ページ		
	100%	95%以上				40ページ		
	95%以上	97.1%				95%以上	40ページ	
調達可能 なものは 100%を目指す	100%	調達可能 なものは 100%を目指す	NEXCO西日本	〈環境〉 サプライヤーの環境評価	G4-EN32 環境クライテリア(評価基準)により選定 した新規サプライヤーの比率	WEB		
246.1km	134.1km	49km	NEXCO西日本事業エリア	〈環境〉 製品およびサービス	G4-EN13 保護または復元されている生息地	WEB		
679.3千m ²	724.2千m ²	90千m ²	—	—	—	WEB		
—	のべ81回	—	NEXCO西日本グループ	〈地域〉 地域コミュニティ	G4-SO1 事業のうち、地域コミュニティとのエン ゲージメント、影響評価、コミュニティ開発 プログラムを実施したものの比率	41ページ		
—	のべ1,674回	—				WEB		
—	4カ所 のべ8ha	—				NEXCO西日本管内 実施箇所 (全7カ所のべ100ha)	41ページ	